

教弘会報

埼玉

新年号



No. 255

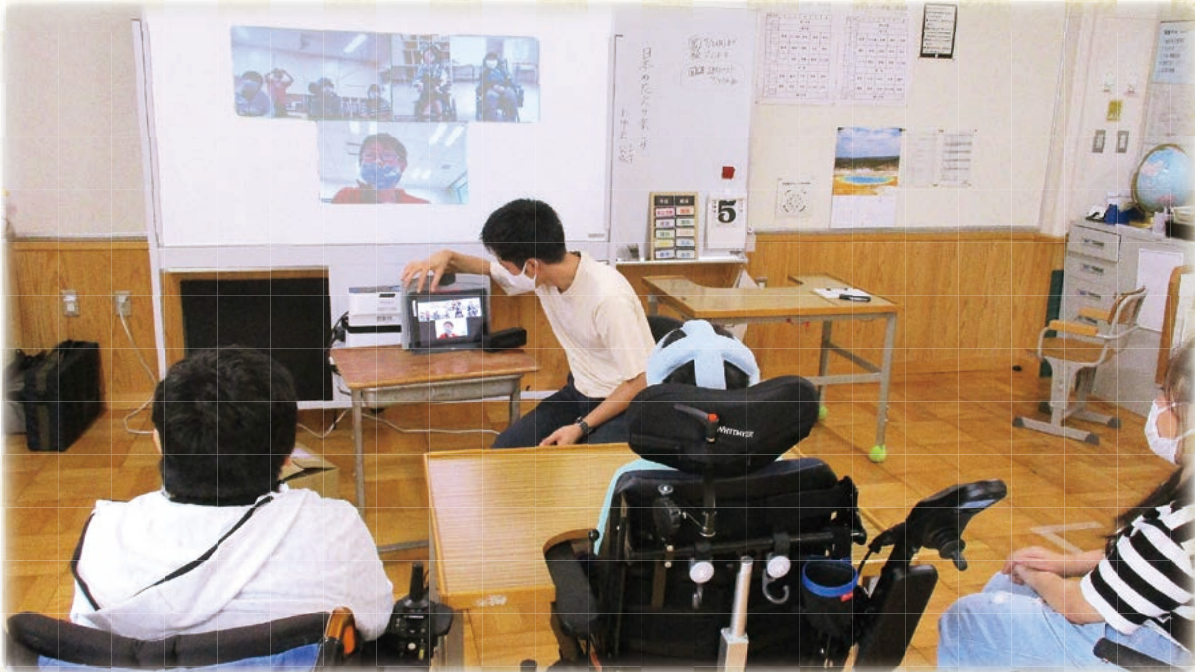
令和4(2022)年1月11日発行

最終受益者は子どもたち

編集・発行:



公益財団法人
日本教育公務員弘済会埼玉支部
株式会社 埼玉教弘



(webによる三校合同の道徳の授業 埼玉県立宮代特別支援学校 本文 P3)

巻頭言

続けたい、私たちにできること
支部長 細田 宏 p.2

教育講演会を聞いて

本庄市立児玉小学校長 木村 健治 p.2

オンデマンド配信による
贈呈式・講演会
アンケート結果 p.2

学校NOW

埼玉県立宮代特別支援学校 p.3

私の授業づくり

埼玉県立上尾南高等学校
教諭 古平 智彦 p.4

頑張れ!!
給付奨学生 p.4

令和3年度教育実践報告並びに
生涯学習実践作文表彰式 p.5

令和3年度教育実践報告並びに
生涯学習実践作文受賞者の皆様 p.5

令和3年度教育実践報告並びに
生涯学習実践作文受賞者のことば p.6-7

第5回 LCの訪問記
私の出会った素敵な学校
加須市立田ヶ谷小学校 p.8

私の読んだ本

「どんなかんじかなあ」
所沢市立小手指小学校 教諭 櫻井 遥奈 p.8

読者プレゼント!

「どんなかんじかなあ」 p.8

「読者プレゼント」当選者の
発表!

「不思議の国のトムキンス」 p.8

寅年。強靱に、しなやかに。



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

続けたい、私たちにできること

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
支部長 細田 宏

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに令和4年の新春をお迎えのことと拝察いたします。昨年の後半は、新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種が進んだことなどにより、感染拡大防止について一定の成果が見えてきました。しかしながら、私たち一人一人に求められている具体的な行動は、これまでと何ら変わらないと思います。毎日の生活の中で「新しい生活様式」を心掛けていくことで、新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種の感染症の拡大を防ぐことができ、自分自身のみならず、大事な家族や友人、隣人の生命と健康を守ることにつながるものと考えます。

今年の干支は「寅」です。干支の特徴としては「決断力と才知」と言われています。当支部は、引き続き「最終受益者は子どもたち」という理念のもと本県教育の振興と教職員の福祉向上に向け、「With コロナ」の視点等にに基づき諸事業や活動を見直しつつ、干支「寅」のように物事の判断をしっかりと果敢にその役割を果たすことで成長を続けてまいります。今年もよろしく願い申し上げます。



『教育講演会を聞いて』

本庄市立児玉小学校
校長 木村 健治

令和3年度「教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会」がオンデマンド配信という形で開催されました。令和2年度は、残念ながら中止となった本会ですが、今年度は貴重なお話を視聴することができ大変嬉しく思っております。

贈呈式では、細田宏支部長から、今年度は過去最多の2,948件の学校や研究会等に助成をしていただいたことが報告されました。「最終受益者は子どもたち」の理念のもと行われている本助成事業は、本県教育の振興及び私たちの教育実践の大きなサポートとなっています。改めてご支援に対して感謝申し上げます。

教育講演会では、日本空港テクノ株式会社環境マイスターの新津春子氏より、『新しい生活様式と清潔な暮らし～一枚のタオルからはじめる私たちに出来ること～』の演題で講演していただきました。私自身、以前から新津氏の講演を楽しみにしておりました。羽田空港を世界一清潔な空港として支えてきた新津氏の清掃に対する思い、自らの体験や一枚のタオルからはじめる清掃の仕方など、大変有意義なお話を聞くことができました。また、「清掃はそこを使う人のことを考えてする」「笑顔を大切に楽しく清掃をする」など清掃の心得を学ばせていただきました。さらに、今の自分を創り上げてくれた上司の一言も紹介され、部下を育てる上で上司の言葉かけの重要性も学ぶことができました。

今後も、研究助成事業の趣旨を踏まえ、子どもたちのために、教育研究の推進・充実に努めて参りたいと存じます。誠にありがとうございました。

令和3年度 教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会 オンデマンド配信視聴アンケート結果

講演題：「新しい生活様式と清潔な暮らし」
講師：日本空港テクノ株式会社 環境マイスター 新津春子氏

動画再生回数は526回でした。

※アンケートは、245名の方々にご協力いただきました。

ご視聴ありがとうございました。

1 「教育研究助成金贈呈式」の部

とても良かった (34%) 良かった (66%)

2 「教育講演会」の部

とても参考になった (48%) 参考になった (51%)

あまり参考にならなかった (1%)

3 主なご感想 (一部抜粋)

新津様には帰国生徒ならではの苦勞があったにもかかわらず、良き上司に出会い、不屈の精神で仕事を成し遂げていらっしゃる。辛い経験がある方ほど他人に優しく、笑顔で接することができるのではないのでしょうか。我々教職員に向け「自分には優しく」というアドバイスをいただき、感謝しています。

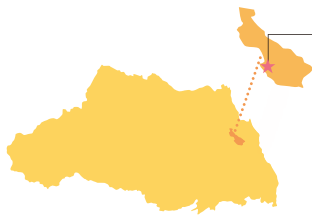
新津春子さんの伝記を読んで感動し、ぜひ話を聞きたいと思っていました。オンデマンドでしたが、とてもよかったです。教師の言動は、その子にとって何十年も心に引っかかってしまうことを改めて感じました。十分気を付けていきたいと思います。

掃除のプロとして活躍されている新津さんの講演を聴けてとても勉強になりました。学校が何の疑問もなく持たせている雑巾について、一考する必要があると感じました。一つのことへ専念する美しさを感じつつ、プロとして生きる心意気を感じました。

子どもたちの主体的な学びを みんなで支える学校



正門から見た校舎



埼玉県立宮代特別支援学校

(〒345-0816 南埼玉郡宮代町字金原 636-1)

児童生徒数: 135 名 学級数: 54
TEL 0480-35-2432 FAX 0480-36-1017
<https://miyayo-sh.spec.ed.jp/>

本校は埼玉県の北東部に位置し、平成元年度開校から 33 年目を迎えた学校です。肢体不自由の児童生徒が通学する特別支援学校ということもあり、平屋建てで 3 棟並んだ校舎が大きな 2 本の廊下でつながっています。スクールバスを利用している児童生徒のために、大型バスが同時に 5 台駐車できるターミナルやバリアフリーのプールがあることも特徴的です。地域周辺には「東武動物公園」や観光農園の「新しい村」があり、児童生徒は遠足や社会体験学習として幅広くねらいを持った学習を行っています。家庭や地域の協力を得ながら、児童生徒の教育活動の充実を図っています。
(校長 神田 剛広)

ICT 機器を活用した取り組み

GIGA スクール構想によって、本校にも iPad や視線入力装置など ICT 機器が整備されました。教科指導の学習効果を高める活用に加えて、障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服するために ICT 機器を活用する視点も大切にしています。例えば、発語や身体の動きに困難があっても、視線入力装置やスイッチ教材の活用を工夫することで主体的に授業に参加できる児童生徒がいます。また、オンライン授業も特別なものではなく、訪問教育や通学の児童生徒が同じ活動を共有して学び合えるようになりました。これからも、子どもたちの学びの充実につなげられるように学校全体で ICT 機器の活用の推進に取り組んでいきます。



視線入力による学習



スイッチ教材の活用



オンラインによる学び合い



ICT 機器を活用するための校内研修

支援籍学習

本校では、小・中学部の約半数の児童生徒が居住地の小中学校に支援籍を置き、同学年の友だちと授業や休み時間、運動会や卒業証書授与式といった学校行事等、様々な教育活動とおして共に学んでいます。特に「総合的な学習の時間」の福祉に関する学習では、車いすを使用した生活について話し合うなど、障害のことをお互いに考え合うことで、将来への深い学びにつながっています。



車いす体験

特別支援学校のセンター的機能

教育や福祉等の各機関と連携し、巡回相談や教職員向け研修会、教材教具の貸し出しを中心に行っています。通学区域内の小・中学校や高等学校への巡回相談では、日々の自立活動の取組や、車いすで参加できる体育の活動内容などを、各学校の先生方と一緒に考え、子どもたちがより充実した学校生活を送ることができるよう、話し合いを重ねています。



他校の先生方との話し合い

地域との交流

近隣の方々の協力を得て、梨園での梨狩りや、学校と隣接した農家の畑でのジャガイモ掘りなど、地域の農作物を収穫する体験の機会を得ています。農業体験などができる「新しい村」では、直売所での買い物学習なども体験しています。地域の力を活用しながら教育活動がさらに充実するように取り組んでいます。



梨狩り

「私の授業づくり」

◀ 高等学校 保健体育

埼玉県立上尾南高等学校
こだいら ともひこ
 教諭 古平 智彦



私が思う「主体的、対話的で
 深い学びを目指した保健体育授業」

はじめに

本校では、令和元年10月、本県にて開催された第58回全国学校体育研究大会の授業公開に向け、3年間にわたり抜本的な授業改善を行ってきた。国が示す男女共習や領域・種目の生徒選択、その中において、いかに生徒の主体性と人間性を育む授業づくりができるかが課題であった。言うまでもなく体育科あげてのチャレンジであり、その中にある「私の授業づくり」であることを敢えて強調してお話しをさせていただく。

授業への心構え



長距離走の前に気持ちを高める円陣

体育授業の楽しさは、何をにおいても技術、体力、戦術を駆使して、皆が協力をして心突き動かすことで、「できた」を実感させることにある。その実現に向け、私が譲れないことが、目的意識と授業との連動、すなわち授業規律の確保である。「時を

守り、場を清め、礼を正す」ことの必要性を生徒一人ひとりに考えさせ、納得した上で授業に参加することを約束している。一見強制と見られるが、自校体操をはじめランニング、主運動に結びつける補強における発声と動きの中、仲間同士との一体感、自・他肯定感の醸成、愛校心、人としてどうあるべきかなど、そこには豊かな未来を想像した笑顔と汗を確認することができる。

自らの評価

これまでの経験から、授業成果が最も顕著に表れるのは3年2学期とみている。多くの生徒が部活動を引退し進路に悩む中、いよいよ授業に望む気持ちにゆりみが出はじめる時期でもある。この時期こそ改めて何を目的に、といった意識に注目させ授業に臨ませることが大切である。これこそが私の授業づくりの原点であり、入学から3年間の生徒との集大成である。例えば、11月に行う体育行事(マラソン大会)に向けた授業では、3年生が手を抜かず、力いっぱい走る姿が学校の伝統となっている。体力的にも精神的にも厳しい状況の中、最後まで汗を流して全力で、走り切る上級生の姿に笑顔になれる。また、生徒の将来を見据え、3年次の選択授業においては、自己やチームの状況に合った課題の設定や挑戦及び練習の仕方やルールの修正などを行い、競技会を自主企画、自主運営できるようにしている。生徒と真剣に向き合ってきた成果がこの3年2学期に如実に表れることを、自分自身における最終評価として受け止めている。

おわりに

近年、学校を取り巻く環境の変化は想像以上に大きく、体育授業にもICT機器の導入やデータ分析が必要となってきた。その中においても、良い授業とは何かを自問すれば、やはり生徒との強い信頼関係こそ最も重要である。我々体育教師には、常に、高校時代に何を教えてもらったのか、何ができるようになったのかを生徒自身が覚えている授業、すなわち生徒の心に学習内容が落とし込まれている授業実践が求められる。そのことを肝に銘じ、これからも全力で授業づくりを進める。

頑張れ!! 給付奨学生

奨学金を給付した皆さんから
 いただいた報告を紹介します。

この度、奨学金の給付を受け、私が一番感じていることは感謝です。この奨学金は「教弘保険」から得られた貴重なお金です。先生方が必死に働いて得たお金です。私には経験したことのない苦勞を乗り越えて得たお金です。そのよくなお金を決して無駄にすることの無いようにしたいです。

私は、この奨学金を主に、参考書や検定の資格取得費用に使わせて頂きたいと思っています。参考書を購入し、応用問題などに挑戦して、自分の学習能力を高めていきたいです。また、検定に取り組み、自分の学習レベルを理解したり、自信につなげたりしていきたいです。

私が今、特に力を入れて努力していることは、勉強に励むことです。現在は、コロナ禍で、学校に行ける回数に限られてしまっています。そのような中で、予習・復習はもちろんのこと、自分なりの勉強方法を見つけて、勉強しています。このまま、今の学習リズムを継続していきたいです。

私には、現在目標があります。それは「四年制大学に行く。」という目標です。これは努力をすれば達成できるものだと思います。ですが、自分に甘えてしまうことで、目標の達成は遠のいてしまうと思います。そのためには、一つ一つの小さな積み重ねを大切に、日々精進していきたいです。
 (県内高校在学)

この度は日本教育公務員弘済会の給付奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。未来を担う子どもたちの教育への熱い情熱により設立された、教職員方の加入している「教弘保険」から生みだされた「助け合いの輪」が、六十年余りの間に大きく広がったことによって、私を含め多くの学生が夢に向かって日々充実した学校生活を送ることができました。

来年には受験生になり、私は人の助けになる職業につきたいと思っており、本校を卒業したら将来の夢である看護師または警察官になれるよう必要な知識や技術を得るため進学したいと考えております。

現在は、日々の授業に真剣に取り組み、学習方法を工夫しながら勉強に向かっています。更に質を向上させ、進学後も継続して勉学に励みたいと考えております。そのため、今回頂いた奨学金は、主に私の進学費用として大切にに使わせて頂きたいと考えています。このような支援を頂いたことを決して忘れることなく常に感謝の気持ちを持ち続けて、夢の実現に向けてより一層努力し、今後の学校生活を充実したものとすることで、多くの方々からの期待に応えていこうと思います。
 (県内高校在学)

令和3年度 教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式

令和3年11月24日(水) 埼玉県県民健康センター

当支部では、教職員が実践している日ごろの教育活動や研究の成果をまとめ、発表する機会として「教育実践報告」を募集しております。今年度は、本事業創設50年を記念して、「ヤング部門」*を新設いたしました。また、県内在住者、在勤者を対象にテーマを設けて、日々の暮らしの中で実践していることを発表する機会として「生涯学習実践作文」を募集しております。たくさんのご応募をいただき大変ありがとうございました。なお、これらの実践は令和4年4月に刊行予定の「教育実践報告集53」「生涯学習実践作文集32」に掲載されます。 ※ヤング部門…35歳未満の教職員を対象とした部門



教育実践報告受賞者と審査委員



生涯学習実践作文受賞者と審査委員

令和3年度 教育実践報告並びに生涯学習実践作文 受賞者の皆様

教育実践報告

(敬称略、配列は受付順)

ヤング部門

★優秀賞★

八潮市立八幡中学校 教諭 花岡 大輔
幸手市立行幸小学校 教諭 田村 浩基
さいたま市立大宮中学校 教諭 茂木 淳史

優良賞

戸田市立喜沢小学校 教諭 横地 真央
越谷市立越ヶ谷小学校 教諭 寺川 耕平
埼玉県立所沢高等学校 教諭 諸橋 香苗
埼玉県立桶川高等学校 教諭 井上 剛志
北本市立中丸東小学校 教諭 塩澤 大
埼玉県立駒西特別支援学校 教諭 樺澤 徹
三郷市立早稲田小学校 教諭 中嶋圭一郎
羽生市立東中学校 教諭 中村美由希
上尾市立東町小学校 教諭 小口 佑介

佳作

越谷市立越ヶ谷小学校 教諭 中村 雅樹
川越市立高階北小学校 教諭 中川 裕子
川越市立高階北小学校 事務主任 東 勇希
加須市立原道小学校 養護教諭 小野田友香
埼玉県立深谷はばたき特別支援学校 教諭 小河原拓大
川島町立つばさ南小学校 教諭 飯野 彬
埼玉県立草加がやき特別支援学校 教諭 高橋 雅一
川島町立つばさ北小学校 教諭 我妻 幹康
さいたま市立日進中学校 教諭 村上 優佳
さいたま市立日進中学校 教諭 大竹 航平
幸手市立行幸小学校 教諭 石川 雄喜
久喜市立栗橋南小学校 教諭 石松 雄太
さいたま市立日進小学校 教諭 黒須 直之

学校部門

★優秀賞★

戸田市立戸田第一小学校 校長 高橋 博美

優良賞

鴻巣市立鴻巣東小学校 校長 関根 正味
川島町立中山小学校 校長 関口 敬氏
三郷市立彦糸中学校 校長 三浦 力

佳作

さいたま市立日進中学校 校長 田所 泰久
埼玉県立秩父特別支援学校 校長 尾上 直也
久喜市立栢間小学校 校長 富山 司
本庄市立北泉小学校 校長 岡村 和美

一般部門

★優秀賞★

越谷市立富士中学校 教諭 櫻井亜莉沙
小川町立竹沢小学校 教諭 井上 法好
新座市立野寺小学校 教諭 小津 裕介
戸田市立戸田第二小学校 主幹教諭 黒田 龍正

優良賞

さいたま市立善前小学校 教諭 中村 直紀
戸田市立戸田第一小学校 主幹教諭 小村 哲也

川島町立川島中学校 教諭 武内 泰敬
埼玉県立上尾特別支援学校 教諭 鈴木 康之
三郷市立瑞穂中学校 養護教諭 細谷 光子
埼玉県北部理科教育研究会「究理会」(熊谷市立大幡小学校校長) 会長 加藤 信
川口市立鳩ヶ谷小学校 教諭 田崎 美奈(代表)
埼玉県立春日部女子高等学校 教諭 寛 美和子

佳作

川島町立中山小学校 教諭 小林 義知
春日部市立上沖小学校 教諭 関根 達緒
川島町立中山小学校 主幹教諭 沼田 美穂
川島町立中山小学校 教諭 渡辺 一弘
川口市立安行小学校 教諭 菊次 哲也
埼玉県立秩父特別支援学校 教諭 加納 博文

生涯学習実践作文

(敬称略、配列は受付順)

★★最優秀賞★★

宮代町 杉村 健

★優秀賞★

秩父市 江田 七男
狭山市 前原 辰信
春日部市 岩本 利夫

優良賞

和光市 井上 明次
春日部市 中田 宗紀
熊谷市 関 彩加
越谷市 松澤 俊雄

佳作

朝霞市 志摩 範夫
川口市 小林富美子
さいたま市 安藤 悦子
鶴ヶ島市 高橋 裕一
戸田市 遠藤 邦寿
行田市 蛭間 督

つつしんで
ご冥福を
お祈りいたします



令和3年	ご逝去	ご尊名	所属等	ご逝去	ご尊名	所属等
	8月	石川 貞雄	友の会(行田市)	10月	玉谷作次郎	友の会(熊谷市)
	9月	栗田 秀夫	友の会(東松山市)	〃	柳 充	川越市立福原中学校
	〃	千島 ツヤ	友の会(秩父市)	11月	高橋 邦博	友の会(春日部市)
	10月	宇原千枝子	友の会(草加市)			

(敬称略)

教育実践報告並びに生涯学習実践作文受賞者のことば

教育実践報告

ヤング部門

★優秀賞★



八潮市立八幡中学校
教諭
はなおか だいすけ
花岡 大輔

学ぶ意欲を高め、主体的に考えて表現できる生徒を育成する理科授業 ～建設的相互作用がもたらす主体的・対話的で深い学び～

このような名誉ある賞に選んでいただけたこと、大変嬉しく思います。忙しい中、私の個人的な研究に快く協力してくださった八潮市内の理科の先生方と子どもたち、エキスパート学習の課題作りを一緒に悩んでくれた仲間たちには感謝の気持ちでいっぱいです。今後もより多くの子どもたちに理科の面白さを感じてもらえるように「子どもが主役になれる授業」を目指して、新しい授業展開・指導法にチャレンジしていきたいです。



幸手市立行幸小学校
教諭
たむら ひろき
田村 浩基

学校や地域、社会のために自分の力を発揮しようとする児童の育成 ～地域人材を生かした「人にふれる」「本物にふれる」総合的な学習の時間の創造～

この度は、優秀賞という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。子どもたちが、たくさんの人たちと関わりながら、「今の自分にできること」を考え行動した1年間の取組をご評価いただけたことを大変嬉しく思います。今後も、子どもたち一人一人の想いや願いがあふれ、笑顔が輝く総合的な学習の時間の授業の創造を目指し、懸命に取り組んで参ります。



さいたま市立大宮西中学校
教諭
もてぎ あつし
茂木 淳史

自己評価による資質・能力の育成と授業改善

～指導と評価を一体的に進めるための手立てー OPPA*論を中心として～

教育現場が目まぐるしく変化する中、4年目の教員として何ができるかを模索し、今回の発表に至りました。新しい学習指導要領の趣旨をふまえ、「指導と評価の一体化」をポイントに実践をまとめ、発表させていただきました。今後も、学び続ける姿勢を持ち、自分ができることに精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

* One Page Portfolio Assessment (一枚ポートフォリオ評価)

一般部門

★優秀賞★



越谷市立富士中学校
教諭
さくらい ありさ
櫻井 亜莉沙

コロナ禍における学びの継続のための方策

～組織の一員・国語科教諭・司書教諭としての取組～

昨年度突然の休校措置を受け「生徒たちの学びを止めないために何ができるか」を第一に考え実践した取組を、このようなかたちで評価していただき光栄に思っております。提案を検討して下さった管理職の先生方、教科指導に助言・協力をしていただいた先生方、新生活を共に歩み、共に学んだ生徒たちに感謝申し上げます。



小川町立竹沢小学校
教諭
いのうえ のりよし
井上 法好

小学校社会科における、ポストコロナ社会を主体的に生き抜く資質・能力の育成 ～「社会への関わり方を選択・判断する力(社会的判断力)」に目を向けて～

この度は、名誉ある優秀賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。この栄誉は、私ひとりの力ではなく、ご指導くださった諸先輩方、新型コロナウイルス感染症拡大というパンデミックをともに乗り越えた同僚の先生方、そして、どんな時でも私を献身的に支えてくれた家族のお陰であると思っております。ありがとうございました。



新座市立野寺小学校
教諭
おづ ゆうすけ
小津 裕介

『単元を貫く言語活動』を通し、『資質・能力』を育む国語科の授業 ～「主体的・対話的で深い学び」を実感しながら「知識・技能」を獲得する子をめざして～

10年間の国語科の研究を評価していただき、本当に嬉しく思います。決して自分だけの力で取れた賞ではなく、研究を一緒に行ってくれた数多くの先輩方や同僚の仲間がいたからこそだと強く感じています。今後は、生徒指導と学級経営が成り立ってこそ、魅力ある授業が展開できるという研究をしていきたいと強く思っています。



戸田市立戸田第二小学校
主幹教諭
くろだ りょうせい
黒田 龍正

資質・能力をつなぎ・つむぐミライの学び

～ With コロナにおけるシームレスな社会との連携～

With コロナの中、「学びを止めない」姿勢で教育活動に取り組んできたことを評価していただき、ありがとうございます。実践をまとめる中で、逆境に立ってもポジティブに未来を向き、既成概念にとらわれない発想力で教育活動を考えていくことのすばらしさに気づくことができました。今後も未来を生き抜く子どもたちのため、実践のフロント・ランナーとして邁進していきます。

学校部門

★優秀賞★



戸田市立戸田第一小学校
校長
たかはし ひろし
高橋 博美

働き方改革の推進

～ Google Workspace for Education Fundamentals を活用した校務運営改革～

職員室のデジタル化による「負担軽減・業務の質の向上につなげる働き方改革」に過大な評価をいただき恐縮しております。働き方改革推進チーム、校務改善担当者の実践を「追試」してもらえたらと願っています。職員が授業と学級経営・生徒指導に専念できる環境をつくり、令和の日本型学校教育を具現化していきます。

生涯学習実践作文

★★最優秀賞★★



宮代町
すぎむら けん
杉村 健

ピンチをチャンスに…

～地域や職場で With コロナ時代を生き抜く～

この度は最優秀賞という栄誉をありがとうございます。子どもたちが夏休みに作文を書いている時、たまたまPTAの配布物で受け取った「生涯学習実践作文」の冊子と今年の募集要項を見て、子どもたちと一緒に宿題をしてみようと筆を取りました。偶然が受賞に繋がるとは…嬉しい想定外。行動を起こす事の大切さを再認識いたしました。

★優秀賞★



秩父市
えだ ななお
江田 七男

生涯学習の実践

～コロナ時代 私にできること～会員との絆を大切に～

この度は予期せぬ賞をいただき感謝感激。
今年85歳を迎へ何事にも挑戦する意欲に燃え、ゴルフ、ペタンクに地域の活動と満遍なく参加し楽しさと健康管理に明け暮れている。
特に地域の敬老会の会長として、コロナ禍における会員との絆を保つために何ができるか試行錯誤を繰り返し、最低限の活動を実践し会員との喜びを分かち合っている。



狭山市
まえはら たつのぶ
前原 辰信

With コロナ時代 人生、先送りせず

～シンプルライフ イズ マイウェイ～

優秀賞受賞の報に、驚きと喜びでいっぱいです。自分自身の退職後三年間の足跡をまとめてみようと思い立ち、一気に書き上げました。「一日一生」を座右の銘に、今後も目の前の課題にシンプルに取り組んでいく所存です。投稿した文章を再度読み直し、最初に妻のことを書いておいて本当によかったと安堵しています。これが私の生存戦略！



春日部市
いわもと としお
岩本 利夫

～ With コロナ時代私にできること～民生委員・児童委員として

優秀賞受賞は、古稀を迎えた私には、望外の喜びである。自治会長を6年間務めた後、令和元年12月から民生委員となった。紆余曲折を経て、私の出番となった次第である。新型コロナウイルス蔓延で、対面の活動等がままならず途方に暮れたが、繋がりの濃い地域性、自治会長時代に培った信頼や人脈で、何とか乗り切ってきた。
今後、放課後子ども学習教室指導教員として、教室再開を願っている。

LCの訪問記
私の出会った素敵な学校



第5回
たがや
加須市立田ヶ谷小学校

営業所
シニアLC (ライフプラン・コンサルタント)
わかばやし あけみ
若林 明美

ジブラルタ生命保険(株)
熊谷支社 行田営業所
所長 岸田 亨
〒361-0074 行田市旭町13-34
田口ビル
TEL 048-554-9040

校門をくぐった先の校庭に大きくすのきと土俵がある加須市立田ヶ谷(たがや)小学校をご紹介します。

今年度着任された折原浩之校長先生に学校の特色についてお伺いしました。特色は何と言っても樹齢百年を超えるくすのき、相撲、群読、田ヶ谷寄席です。



くすのきと校舎

子どもたちの群読の後は地元出身の入船亭扇蔵師匠をお呼びしての田ヶ谷寄席、相撲は大山親方を始め大嶽部屋の力士さんなどをお呼びしての田ヶ谷場所(相撲大会)です。

保護者や地元の方々の声援を受けながらの横綱決定戦は、白熱した取組が繰り広げられるそうです。「三十七回続いた田ヶ谷場所も昨年度から感染症拡大のため開催できませんでしたが、来年度は子どもたちの為にも何らかの形で開催したいと思っています。」と校長先生の熱い思いをお伺いしました。



右側から山田参事、折原校長先生、若林LC

シリーズ 私の読んだ本 ◆No.76

「どんなかんじかなあ」

所沢市立小手指小学校
教諭 桜井 遥奈



主人公の男の子が、「どんなかんじかなあ」と想像力を働かせながら、様々な困難を抱えたクラスメイトの子の立場に立って考えていくお話です。最後は…。

私は、学生の時に家庭の貧困によって困難を抱える子どもたちに勉強を教える団体に入っていました。

日本の貧困は、周りに気付かれにくいです。日々過ごしていて、日本の貧困に問題意識をもっている人が少ないなと感じています。子どもたちには、自分とは違う環境や経験をしている人の立場に立って考えていく人になってほしいという気持ちを込めてこの絵本を読み聞かせしました。想像力を持つことに、年齢は関係ないと思っています。一人一人のやりたいことができる日本になることを祈って。



中山千夏 文
和田 誠 絵
自由国民社
1,650円(税込)

シリーズ「私の読んだ本」

読者プレゼント

「私の読んだ本」で紹介した本を
読者の皆さんにプレゼントしています。

「どんなかんじかなあ」

自由国民社
3名様

応募締切…令和4年3月8日(火) 必着

※ 応募者多数の場合は抽選。賞品はジブラルタ生命の学校担当LC(ライフプラン・コンサルタント)がお届けし、当選者名と所属を「教弘会報埼玉」に掲載します。

応募要領

- 「Eメール」・「郵便はがき」・「FAX」のいずれかでご応募ください。
- 希望する書籍名、学校名、氏名(ふりがな)を明記の上、次のいずれか一つをご記入ください。
 - ① 「私の読んだ本」の記事の感想
 - ② 本会報「教弘会報埼玉 No.255」の感想
 - ③ その他、趣味・旅行・健康づくり・ストレス発散法・お勧めのお店・耳よりの話など何でも可

※ 感想や投稿記事は、応募者のご了解の上で「教弘会報埼玉」に掲載することがあります(薄謝贈呈)。

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-24 埼玉教育会館7F
公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
「私の読んだ本」プレゼント係 FAX048-834-0550



Eメールはこちら

奮ってご応募
ください。

「読者プレゼント」当選者の発表

「教弘会報埼玉 No.252」掲載の

『不思議の国のトムキンス』

たくさんのご応募ありがとうございました。

G・ガモフ著 伏見 康治訳 (白楊社)

当選者 鈴木 佳子(さいたま市立尾間木小学校) 谷口 達哉(越谷市立西中学校) 中山 和真(さいたま市立城北小学校)

(敬称略・順不同)

令和4(2022)年
1月11日発行

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
https://www.kyoko.or.jp/

株式会社 埼玉教弘
https://www.kyoko.co.jp/

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24 TEL 048-822-7551(代表) FAX 048-834-0550

◆ 次号 教弘会報埼玉 No.256 は
令和4(2022)年2月24日
発行予定です。